

# 小児 AYA 世代（15 歳～40 歳前後）にがん を経験した方の交流会を行いました

交流会での声

## ◆がんと分かった時

- ・頭が真っ白になって、事実を受け入れられない時期が長かった。
- ・ショックで長期間落ち込んだ。

## ◆治療を乗り越えた要因

- ・友達からの手紙や連絡を取ることで前向きになれた。
- ・同じ病室の人と励まし合いながら過ごすことで気持ちが楽になり、頑張ることが出来た。
- ・病気にならなければ出会わなかった人と出会えたこと。

## ◆AYA 世代に必要な支援

- ・妊孕性温存\*に関する説明をしっかりと聞きたい。
- ・がんになっても仕事を続けられる環境が必要。

## ◆交流会に参加して

- ・同じ経験をした人と交流することで共感する部分もあり、良い機会になった。
- ・皆さんのお話を聞いて、今後の生活に向けて動き出す自信ができた。

## ◆がん経験者としてのメッセージ

- ・人との繋がりが大きな支えになる。
- ・些細な喜びを積み重ねていくことで前向きになれる。

※妊孕性（妊娠するための力）を温存するため、卵子や精子を凍結保存すること。

栃木県では、今後も交流会の開催を予定しています。

同世代の経験者と話してみたい、悩みや気持ちを共有できたら・・・という方は、ぜひ御参加ください。



【お問い合わせ先】

栃木県保健福祉部健康増進課

TEL：028-623-3096